



平成 28 年 6 月 23 日

各 位

会社名 株式会社よみうりランド
代表者名 代表取締役社長 上村 武志
(コード番号 9671 東証第 1 部)
問合せ先 経営企画室長 内田 雅音
(電 話 044-966-1246)

よみうりランド中期経営計画（2016～2018 年度）の策定について

当社では「よみうりランド中期経営計画（2016～2018 年度）」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

わが国経済は、政府の経済財政政策や日銀の金融緩和政策を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速による影響が懸念されるなど、先行きは不透明感を増している状況です。当社グループの関連する業界においても、人口減、少子化がますます進行し、パイが縮小する中、業界内の生き残り競争は熾烈なものとなっております。

このような状況の下、遊園地においては、2016 年 3 月 18 日、日本最大となる“モノづくり”が体感できる新エリア「グッジョバ!!」をオープンいたしました。また川崎競馬場では、来場者減少に伴い閉鎖していた 3 号スタンド跡地に商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」を開業。その一方で、船橋オートレース場が 2016 年 3 月末に閉場し、2016 年 4 月 8 日に船橋競馬場内に新たにオートレース・競輪複合場外施設をオープンいたしました。

このように、当社の事業を取り巻く環境は大きく変化しており、主要な事業分野で大きな変革が同時に進行いたしました。

このような事業環境の変化に対応し、持続的な企業価値向上を目指すべく、当社は 2016 年度から 2018 年度を計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。

■基本方針

当社及び当社グループは、公営競技施設、ゴルフ場、遊園地等を所有し、その運営・賃貸といった国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウと、ブランドイメージに裏打ちされたさまざまな経営資源を持っております。これらに基づく持続的な企業価値の向上を目指し、安全面には万全の配慮を行いつつ、コスト削減と業務の効率化を徹底していくとともに、更に新しい形態のサービスを模索してまいります。

■重点取り組み

1. 安全確保への再認識と新環境への対応
2. 不断の努力と知恵の創出
3. 個人の能力向上と組織の力の強化
4. 社内外の情報への感度向上
5. 社会貢献への取り組み
6. 防災対策の強化

■経営課題

1. 遊園地エリア及び同周辺エリアの開発に向けた検討
 - ①遊園地エリア及び同周辺エリアの価値向上に向けた遊園地事業拡大
 - ②同周辺エリア社有地の有効活用
2. その他新規事業計画の推進
 - ①船橋、川崎両競馬場の土地に関する有効活用の検討
 - ②親子向け屋内遊戯施設の新規出店検討
3. 既存事業の売上・利益堅持
 - ①グッジョバ!!オープン後の事業収益の極大化
 - ②全社的な企画、営業力、団体集客力の強化
 - ③インバウンドへの早急な対策
 - ④夜間営業企画の発展
 - ⑤川崎、船橋両競馬場の本場入場者、売上の促進強化
 - ⑥船橋新場外施設の売上向上
4. 人材育成への投資と組織の改革
 - ①社内連携、サービスレベル向上を目指した取り組み
 - ②他社との人的交流の拡大
 - ③グッジョバ!!事業運営、親子向け屋内遊戯施設の多店舗展開に向けた人材育成
 - ④経営環境の変化に対応した組織の改革

5. 防災対策の強化

- ①防災訓練、防災対応の向上
- ②備蓄体制の整備
- ③立川断層の動向注視
- ④大震災・大災害に対応する体制準備

■経営数値目標（連結）

2018年度（計画最終年度）について、売上高 190 億円、営業利益 10 億円を目指してまいります。また、計画 3 カ年度累計の投資予測は、70 億円となっております。

■資本政策

当社の資本政策は、株主価値の持続的な向上をめざし、拡大する事業機会を迅速・確実にとらえるために必要となる十分な株主資本の水準を保持することを基本としております。

また、配当につきましては、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、当社を取り巻く経営環境や業績の状況、財務状況等を総合的に勘案のうえ、安定的に配当を行うことを基本方針としております。

以 上